

2009年中堅・中小企業の ワークフローアプリケーション利用シェアと評価調査報告

ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705：代表：伊嶋謙二 TEL：03-5244-6691 URL：http://www.norkresearch.co.jp）は2009年の国内中堅・中小市場におけるワークフローアプリケーション利用シェアと評価に関する調査を実施し、その分析結果を発表した。本リリースは「2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」のワークフローアプリケーションカテゴリに関する速報である。

<多様性を維持しつつ、業務フロー管理基盤としての連携性が重視される方向へ>

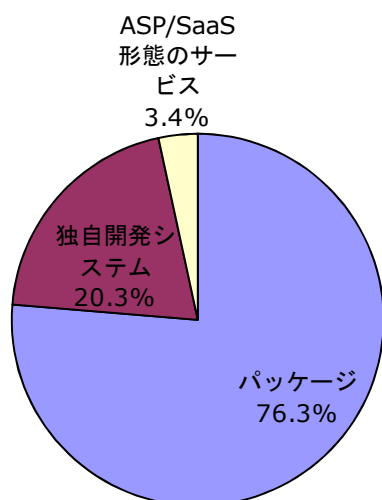
- 役割に応じて「パッケージ」「独自開発システム」「ASP/SaaS」の三つの形態が今後も混在していく
- 単体の承認/申請処理システムとしての利用から、業務フロー管理基盤へと役割が拡大しつつある
- 連携によって発生するインテグレーションは製品評価を厳しくするが、シェアの獲得には必須の要素

対象企業	年商5億円以上～500億円未満を中心とした国内民間企業
対象地域	全国
対象の選定	弊社所有の企業データベースから抽出
サンプル数	約5,000社対象（有効回収票1,480件）
調査期間	2009年6月～9月

多様な役割が求められるため、今後も三つの形態が混在する状況が続くと予想される

以下のグラフは国内中堅・中小企業（年商5億円以上～500億円未満）の民間ユーザ企業に対し、ワークフローアプリケーション導入形態現状（パッケージ、独自システム開発、ASP/SaaS形態）の比率を尋ねた結果である。

ワークフロー形態比率



N=232

パッケージが多数を占めているが、独自開発システムとASP/SaaS形態もある程度存在している。

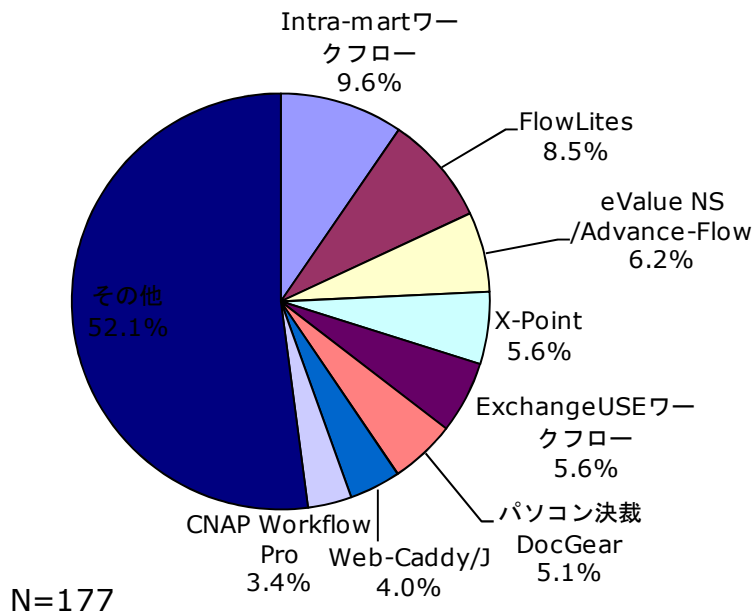
ワークフローには精算処理や稟議申請といった単体システムの中で完結するものと、BPMのように業務基盤としての性格が強いものがある。

前者はパッケージやASP/SaaS形態が比較的多く、後者は独自システム開発が多い。

ワークフローには非常に多様な役割が求められるため、今後も三つの形態が混在する状態が続くと予想される。

単体の申請/承認システムとしての利用から、業務フロー管理の基盤へと役割が拡大

ワークフローパッケージシェア



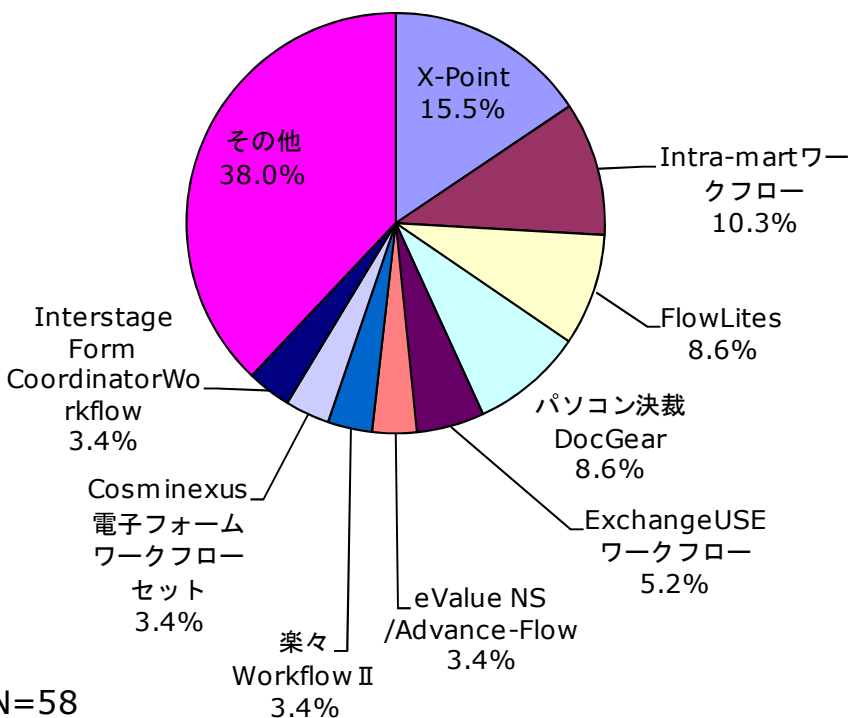
左グラフはパッケージ利用シェア（現在導入済みパッケージ製品に関する社数ベースのシェア）の結果である。

ワークフローのパッケージ製品は非常に数が多く、単独でシェアの大半を占めるものはまだ存在していない。

「Intra-martワークフロー」「FlowLites」「eValueNS/Advance-Flow」といった上位三製品について見ると、何らかの形でシステム連携を意識しているという点が共通している。

単体の稟議申請処理としての機能に加え、中堅企業を中心に業務フロー管理を担う役割が求められつつあると推測される。

ワークフロー利用予定パッケージシェア



左グラフはパッケージ利用予定シェア（新規導入または今後も継続して利用する意向のあるパッケージ製品の社数ベースのシェア）の結果である。

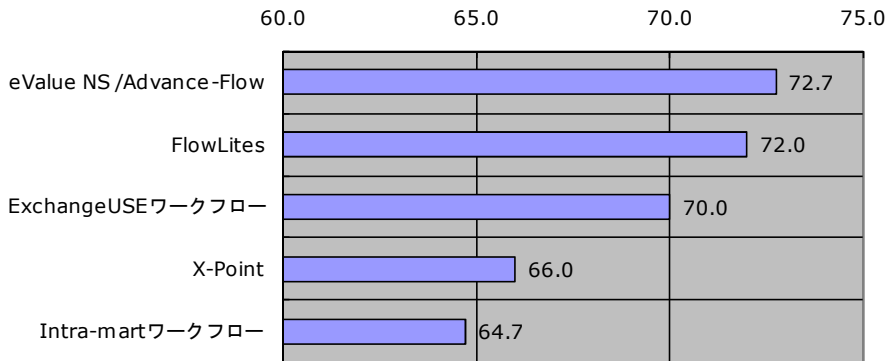
パッケージ製品の数が多く、新規参入も盛んであるため、利用予定シェアは大きく変動することが多い。

サンプル数がやや少ないため、参考に留める必要があるが、「X-Point」「FlowLites」「Intra-martワークフロー」などの他社製品との連携を重視する製品が上位に位置している。

業務フロー管理を担うためには他社製品との連携が必須とある。今後は「連携性」がシェアを左右する要因になってくると予想される。

連携によって発生するインテグレーションは評価を厳しくするが、シェア獲得には必須要素

ワークフローパッケージ評価



N=177

左グラフは利用シェアにおける上位五つのパッケージに対するユーザの五段階評価（製品全体に対する総合的な評価）の結果である。

「Intra-martワークフロー」と「X-Point」が比較的低い評価となっている。両製品ともERPやグループウェアとの連携が強みであり、その分インテグレーションを伴うことが多い点が評価に影響していると推測される。

手軽な連携性を実現することが、利用シェアと評価の双方において重要なポイントであるといえる。

— レポート発刊のご案内 —

『2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価』

中堅・中小企業市場におけるITアプリケーションの動向を全国の中堅・中小の民間企業（年商5億円以上～500億円未満、1480社）の調査結果から詳細に分析した必携の一冊

価格： 95,000円(税別) ※CD-ROM版/製本版のいずれかを選択可

発刊日： 2009年10月26日

【主なレポート内容】

- ・ ITアプリケーションの提供形態（パッケージ、独自開発システム、ASP/SaaS）の現状と今後
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用シェア（社数ベースの導入シェア）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別評価（製品に対する満足度を五段階で評価）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用予定シェア（社数ベースの導入予定シェア）

対象となるITアプリケーションカテゴリ

「ERP」「生産管理システム」「財務管理システム」「販売管理/購買管理システム」

「給与管理システム」「人事管理システム」「ワークフロー」「グループウェア」「CRM」

「運用管理/資産管理」「クライアントPCセキュリティ」「CTI」「DWH/BI」「文書管理」

「帳票」

当調査データに関するお問い合わせ

株式会社 ノークリサーチ 担当：岩上 由高
 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692
 inform@norkresearch.co.jp
 www.norkresearch.co.jp

NORKRESEARCH